
歴史若道書きのB L合戦記

蒼樹 仁

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

歴史若道書きのBL合戦記

【著者名】

蒼樹 仁

N7368Z

【あらすじ】

私の出会いたB級作品、心に引っ掛けたものたちの感想その他を勝手に書きまくる！！

矢合わせは華やかに！？～プロローグ～

アクセス解析とやらを見てみたら、まあ何とも感動的な数字がぴょこりぴょこりと踊っている。

いつまでも過疎つて いるブログの何倍でせう？ 嬉しくなつてねこぢゃねいぢゃを舞つてしまふ。

といつ訳で、仕方がないので狂喜しながら投稿再開してしまおうかねえ。

新シリーズはアタクシの出逢つたBL作品の感想やら何やら。カワイソウに、餌食になつてしまつイタイケな仔羊が1匹羊が2匹羊が3匹……そのうち日本伝統芸能作品も愛して差し上げますことよ？伝統芸能をBL視線で、なんて言つと、お上品なマダームが青筋立ててお怒りになりそうですけど、何てことはない、日本古来の芸能はゲイ能なんありますよ？ほら、高尚な「シユミ」と思われるお能、そのこんにちの基礎を築いた世阿弥は将軍のお気に入りっ。従つて「そういう」ぐだりは結構能楽作品に出てきます。

歌舞伎だって江戸までの役者さんは……（以下略

つてな訳で、あんまり時間が作れなくて更新頻度は高くないかもしれませんけど、新シリーズ開戦でござりますー！

『Hybrid Child』 中村春菊（前書き）

作品情報：『Hybrid Child』 中村春菊（角川書店／ビブロス） 2社より発行

戦端を開くのは、やはりこれ。

あ、すみません、ちょっとこのシリーズの題名変えました。早々と
昨日～今までにプロローグ読んでくださった方、ありがとうございます。
ます、『探訪記』から『合戦記』に変わっています。

中村春菊大てんてーは『純情ロマンチカ』とか『世界一初恋』とか
のシリーズで爆発的人気を誇つておられるけれど、私は圧倒的にこ
の1冊が好きです。

明言はしておられないけれど、恐らくはこれ、会津戦争がモチーフ
になっています。

1、2話の舞台は明治ですが（多分）、話の発端は幕末、あれから
140年以上経つた現在でも未だ会津人と長州人との間に微かな遺
恨を残す、鳥羽伏見の戦いに端を発した戊辰戦争、その中でも地獄
絵図をうつし世に下ろしたかのごとき会津戦争が話の始まり。いや、
話の流れからしてそうだと思うのよ？

ネタばれするので詳しい内容は書きませんが、心に深い傷を負った
指揮官2人、それでもなお赦されぬ罪、悲しみをぶつけるあてを知
らず、ハつ当たりする民衆……そしてひたむきに愛し続けてくれる
ハイブリッドチャイルドに救われ、あるいは更に孤独を深める指揮
官。

1話はやや軽めのノリですが、『月の雫』『型番0001』のキー
ワードを深読みすると、黒田のポーカーフェイスに大泣きします。
最後まで読まないとの深読みの意味は解らないのですが。

……どうして出版社さまは中村てんてーに時代物の新作を依頼しな
いのでしょうか？『東山道転墜異聞』、『月は闇夜に隠るが如く』、
『満月物語』、『海二眠ル花』、この方の魅力は時代物にこそ顯著

に表れていると思うのですが。

美しいナレーション、心に重く響く人の愚かさ愛おしさ、暗闇に差し込むひと筋の希望。ああ、稀代のストーリーテラーとはこの人のことを言うのだ、と、涙しながら読んでいる……のですけれどねえ。

さて、次回は日本を飛び出してアメリカを舞台にした作品でも。

『 ニューポーク・ニューヨーク 』 羅川真里茂（前書き）

作品情報・『 ニューポーク・ニューヨーク 』 羽川真里茂（白泉社・
全4巻）

『ハイブリッド・ニュー・ヨーク』 羅川真里茂

いきなりアメリカに飛びました。

羅川真里茂さん、『赤ちゃんと僕』などでも有名な漫画家さんですね。

さて、日本史が主食、というか日本史偏食一辺倒な私がどうしてこの作品を取り上げたのか。

それには深い訳がある……よつなんによつな。

この作品はボーアズラブというより、ゲイの漫画と言つた方がしつくりくる気がします。何が違うんだ、と言われるとどうにも困るのですが。

偏見に遭つて大変な苦労をし、それでも強く想い合つケインとメル、激しくケインとぶつかり合うケインの母親の心の揺れ動き、誘拐事件、そして穏やかなラスト。

我が家には絶対に手放さないけれど手に取れない作品が一つあります。それが前回取り上げた『Hybrid Child』と、この『ニュー・ヨーク・ニュー・ヨーク』。

その理由は両者で全く異なります。『Hybrid Child』はあまりに哀しすぎて、そしてこの『ニュー・ヨーク・ニュー・ヨーク』はそのラストの静かな陽だまりが切なくて。

『ハイブリッド』は悲劇、『ニュー・ヨーク』はハッピーホンドと言えるでしょう。ハッピーホンドなのにどうしてここまで苦しいのか。これは何度も考えてみたのですが、解らん。強いて言つなら、静かな感動の、その振れ幅が広すぎて、心がかき乱される、とでも？等身大の彼らの姿が生き生きと描かれるこの作品、B.L.に興味のない人、漫画が嫌いな人にもお薦めしたい1作です。

ちなみにこの作品にテーマ曲を勝手につけるなら……

横原敬之さんの『Taking The Central Course』です。

『ハーモニク・ニューヨーク』

羅川真里茂（後書き）

次回は……何書こう？ 未定です。。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7368z/>

歴史若道書きのBL合戦記

2012年1月14日15時52分発行